

# activate

## 選択という特権

デービッド・B・バーグの著述からの編集

ある日、旅行代理店の人と話をしていると、いつの間にか神についての話になった。

「私は神なんて信じません」と彼女は言った。

「もし神がいるなら、どうして世界中で悲惨な出来事がいっぱい起こるのでしょうか？」

そこで私はこう答えた。

「すべての災いを神のせいにするのにはできませんよ！ 多くは悪魔の仕業です。悪魔は、人が苦しむのを見て喜ぶのです。また、悪い出来事を神のせいにして、人に神への不信感を抱かせるという策略をよく使います。自分の汚い仕業を神のせいにしてしようとするんですよ！」

彼女はしばらく沈黙し、考え込んでいたが、こう質問してきた。

「でも、もし神が存在し、万能であるなら、神はどうして悪魔を阻止せず、沢山のひどい事が起こるのを許されるのですか？ どうして神は、ヒトラーのような人を止めなかったのですか？」

「神がヒトラーを止めるとしたら、神はすべての人がどんな悪をするのも止めなければならなくなってしまいます。ヒトラーほど悪くはないでしょうが、人は誰でも皆、時に悪いことをするものです。」

「では、どうして神は、人間を良いことしかしないように創らなかったのですか？」

「もし神が、ロボットをほしかつたのなら、確かに、良いことだけするように創ることもできたでしょう。けれども神は、人間に選択の自由と個人の意志を与えられました。それによって、人は善を行うか悪を行うかの選択ができるのです。もちろん神は、私たちが正しいことをし、誰も傷つかないことを願っていますが、人が悪い選択をしそうなものを見て、たいていは介入しません。どうしてだと思いませんか？ それは、神が人に選択の権利を与えられ、それに介入し

ないように、ある程度ご自分を制限しておられるからです。

さて、誰でも時に悪い選択をしてしまうものですが、残念なことに、人によってはしつこく悪い選択をし続けます。それが原因で、今日の世界には多くの問題があるのです。それは、人々の悪い選択の結果なんです。けれども、少なくとも個人的なレベルでは希望があります。神は、人が良い決断を下し、正しい生き方ができるようにと、ご自身の御子であるイエスを地上に送って下さいました。だから、神とイエスに助けを求めるなら、世界のすべての問題を解決することはできなくても、自分の生活を改善し、自分の周りの世界に違いをもたらすことはできます。」

こう説明したところで、別の客が入ってきた。彼女は席を立ちながらこう言った。

「確かにあなたは、私の世界に違いをもたらしたみたいですね。少し神について分かってきました。私も神を信じてみたい気がします。」



人類に対する神の計画の神秘の一つ、それは、神が人間に選択の権限を与えられたことです。これは多くの人にとって理解しがたいことのようにですが、神は、人が善を選ぶか悪を選ぶかの選択を任せるだけではなく、それに加えて、良い選択の範囲内でもさらなる選択を与えられます。つまり、その選択が本人にとっても他の人たちにとっても悪いものでない限り、人の選択にバラエティを持たせて下さるのです。それはちょうど、親が自分の愛する子供たちに好みにあったものを選ばせるのと同じです。たとえば、子供におもちゃを与える時、親は子供に喜んでほしいと願い、それが安全で良いおもちゃなら、いくつもの選択肢の中から子供

の好きなものを選ばせることでしょう。

多くの人考えることとは裏腹に、神が私たちに代わって選択されることはありません。私たちは自分で選択しなければならないのです。神が人をこの世界に置かれたのもそのためです。大きく重要に見える決断であろうと、日々の些細な決断であろうと、私たちが何を選ぶかは、その人の将来に、また周りの人たちの将来に様々な影響を与えます。だから、私たちはそれを考慮しながら決断しなければなりません。つまり、神との直接のつながりや、神の御言葉や御心に関する知識を通して、また神や他の人々への愛ゆえに、何が正しく、またより良い決断であるかを学んでいくのです。

そして、人間の幸せのために定められた神の愛情深い戒めを守るなら、神からの喜びや幸せ、祝福や楽しみという報酬を受けることになり、この世の利己的な生き方に倣って自分勝手な道を行き、神の愛と健康のルールを無視するなら、その結果に苦しむことになります。つまり、病氣、

失意、苦難、経済的困難、不幸などに悩まされ、さらには、人間同士の非道な行い、残虐行為、戦争さえ起きるのです。それらはすべて、神が人のために定められ愛のルールに従わなかった結果です。

ですから、愛に基づいた賢い決断を下せるよう学ぶことは、人が学ぶべき一番大切なことです。そして、それを学ぶための最初のステップとは、神から送られた人生の教師であり導き手であるイエスを心に受け入れることです。そうすれば、イエスはあなたが日々より良い選択を下すのを助けて下さいます。まだ、イエスを心に受け入れていない人は、ぜひ、下記の祈りを祈ってイエスをあなたの人生に迎え入れて下さい。

「イエス様、私はもっと良い決断が下せるようになりたいです。どうぞ、今私の心の中に入って、人生の導き手となって下さい。今までの過ちや失敗をぬぐい去り、愛と確信に満ちた新しい人生を始めるのを助けて下さい。イエス様のみ名で祈ります。アーメン！」

---

人生とは、自分では船も気象条件も選べないものの、  
舵の操作や航海の仕方次第で多くのことを成しえる船旅のようなもの。

---

## 何かが不確かな時には・・・

人が神の御心をしたいと願うなら、主はお返しに、その人の心の願いをかなえることを喜びとされる。だから、私たちが神を喜ばそうとしているなら、神は私たちに、私たちが望むもの、私たちが信仰を持っているものを与えて下さる！

だが、「疑いがある時、定かでない時には、するな！」聖書にもあるように「すべて信仰によらないことは罪」だからだ。何かの不確かな場合にすべき最善のことは、神が御心を明らかに示して下さいまで待つこと

だ。あなたは、自分の決断について確信を持っている必要があり、単に他の人たちによって影響されているのはいけいない。

決断について、時間は良いバロメータとなる。だから、確信が持てるまで、待つことを強く勧めたい。パウロもこう言っている。「各自はそれぞれ心の中で、確信を持っておるべきである」(ローマ 14:5) つまり、自分の決断は自分で下さねばならないのだ。誰も、神でさえも、あなたに代わって決断することはできない。

— デービッド・B・バーク

# @activate

アクティベート ジャパン <http://www.activate.jp> [activate@activate.jp](mailto:activate@activate.jp)

この記事は「アクティベート誌」Vol.6 Issue 2からの抜粋です。このような読み物をさらにご希望の方はご連絡下さい。尚、無断で転載することを禁じます。

© 2008 Aurora Production, Ltd. All Rights Reserved